

8 スウェーデン

スウェーデンの警察職員はノルウェーと同様である。国家警察委員会は警察と国民の前向きな関係が警察業務の成功の鍵を握る重要な要素であると考えている。同委員会八項の報告書によるとスウェーデンの600ある地方警察の警察官の総数は全人口の7%であり、警察官を将来さらに増強する必要があるとしている。しかし、実際のところ、パトカー勤務の警察官の比べていわゆる巡回連絡担当の警察官の数を増加させることは難しい。

しかし、ストックホルムの居住地区に位置する警察署で勤務する巡回連絡担当の巡査も存在する。その内のボ・ニルソンは巡回連絡に5年間従事しており、ブロンドの髪に毛にあこひげを生やし、暖かい微笑みを浮かべた屈強な巡査で、「パトロール警察官とソーシャルワーカーを組み合わせであるこの仕事は気に入っている。市民の近くにいる方が警察官にとっては望ましいと私は考えている。パトカーに乗っていると市民の目の高さを越えてしまう。」とニルソンは語った。ラルフ・アンダーソンは居住地の警察事務署勤務から巡回連絡に変わって13年になる。参観者の目には退屈した時などパトカーの中で長時間さぼる方がよいように映るが、両者とも実に仕事が気に入っていると述べている。しかし、ストックホルム勤務の警察官の多くはパトカー勤務を希望している。

このストックホルム勤務の警察官の多くがパトカー勤務を希望する訳を理解するためにはスウェーデンの警察は行政権を分散化していないのが実態で、スウェーデン警察に関する報告書とは異なることを知る必要がある。スウェーデンの都市にはストックホルム警察とマルモ警察等のように同一水準の警察機関がある。しかし、給与は国家警察理事会によって分配される。もちろん、市民で構成されている地方理事会も存在するが財政管理の権限がないことから実質的にはその権限は制限されている。

警察官の研修や人事配置も国家レベルで決定されるが、このことも将来のコミュニティ・ポリッシングにとって意義深い。警察官の研修や配置を国が決定するということは警察学校卒業したての新人は、必要性・要求度の高い都市部に配置される。その結果、ストックホルムの警察官の多くは田舎育ちの若い警察官であり、警察官として成長し年齢を重ねるにつれて、地方への転勤を希望する者が多い。また、ストックホルム市内で勤務している場合でも彼らは都市部では暮らさないうで家族は地方で暮らしている。全国組合はこれらの田舎で居住する者に対して取り計らい、1回のパトカー勤務時間を長く

して週3日半の勤務体制が可能になるように交渉した。こういった理由から、ストックホルムでは都市部以外の勤務を希望したり、他の警察官と一緒にパトカーに乗務することを望む若い警察官が大半である。この種の警察官が多いことはコミュニティ・ポリシングの実施を妨げるものであるがその他にも、地域警察官が自分の仕事に熱心である一方、居住地に位置する交番などに勤務するには階級に制限があり、地域警察官に対する援助も行き届いていないからである。要するに、車両によるパトロールはできるだけ早く仕事を終えて帰宅したい警察官に適しており、それとは対照的にコミュニティ・ポリシングは地域住民への献身を意味している。

9 デンマーク

デンマーク警察は3種類（重なる活動領域もある）の防犯警察活動に従事している。コペンハーゲンの15の警察機関は教育担当であり、これらの警察官は学校で生徒に安全・防犯対策や麻薬防止に関する教育をする。彼らの重要な任務は警察と若者の前向きな関係を構築することである。交通安全、道路の横断のしかた等を若者の友人となって指導するよう心がけている。概して、教育担当の警察官は法律の難しさをわかっていない生徒たちの需要に応えるものである。

コペンハーゲン市は15のSSP班を警察署内に設置したのは、学校やソーシャルワーカー及び警察の関係を緊密にするためである。それぞれの班は6～8名で構成されている。SSP班の構想はそもそも1982年に遡るが、約10年間何もなされなかった。教師、ソーシャルワーカー及び警察は法律上問題のある生徒を協力して更正させる必要があることを理解していた。特に革新派の社会主義者になりがちなソーシャルワーカーと政治思想がより保守的であることの多い警察官がこの協力の必要性を認知していた。依然のSSP組織はこれらの異なる団体を共に作業することを要求した。大した変化は見られないが、SSP担当の警察官はソーシャルワーカーにより同情的になり、より開放的なソーシャルワーカーが警察と協力することができた。

基本的にはSSPの任務は以下の通りである。相当数の子供たちは戸外で長時間過ごし、その多くは崩壊した家庭の出身者であるが、万引き等の軽犯罪で逮捕されている。SSPの背後には、こういった子供たちに見本となる役割を与えることであり、彼らの人生の質を高めることにより、それ以上の犯罪を起こさせないという思想である。このプログラムの主要なものにSSP担当の警察官と水泳、ボディービル、釣りやその他のスポーツ等の多種多様なレクリエーションを行う若者達に関わる他の警察官も「ビッグ・ブラザー・コミットメント」である。デンマークは比較的文化の単一な社会であり、警察は頑固な子供と同じように思われている。SSPが当初意図されたように機能しているかどうかはこれまで公式な評価を行ったことがないので判断しがたい。しかし、はっきり言えることは警察関係者はこれまでのSSPの実績を肯定的に判断し、成果を認めている。

居住地の警察職員宿舎はデンマークにおける第三番目に重要な部分であり、2種類の宿舎は非常に清潔で明るい色の核家族用宿舎であった。それらは、健全で、魅力的で、

また可愛いもので、サンタアナ、カリフォルニア、ニューアーク、ニュージャージーで見たものとは異なっていた。アメリカ人見学者は概してスカンジナビアの警察施設の質の高さに簡明を受け、「ヒル・ストリート」の類の警察宿舎はスカンジナビアでは考えられない。アメリカ大都市に見られるものに比べて、労働者の権利と警察の威厳という理想が組み合わされ、法執行者向けのはるかに魅力的で適切かつ健全な施設を提供している。

とにかく、これらの居住地にある感じの良い警察職員用宿舎はさまざまな機能を果たしている。その住民である警察官は歩いて警らを行い、犯罪防止に関する地域連絡会を催したり、教育プログラムの一貫として子供を指導したり、SSPと共に活動している。彼らは比較的、減敵的名指定地域で勤務しているトラブル解決人であり、必要に応じて他の任務に就くことも可能である。

ノルウェーは現在のスカンジナビアの警察活動で最も影響力のある報告書を作成しており、その根本方針はスカンジナビア（ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド）の警察幹部により指示されている。しかし、スカンジナビアにおける警察改革闘争の根深さは報告書が提案している社会における警察の役割に関する理論と、実行されていない現実とのギャップの大きさから憶測できる。その理論は以下の10の法則から成り立っている。

- ① 警察は社会の理想に影響する。
- ② 警察は市民の性格特性を所有する。
- ③ 警察は統合された組織である。
- ④ 警察は地方分権される。
- ⑤ 警察官は全方面の知識・技能を有する人（万能選手）である。
- ⑥ 警察は市民と互いに影響しながら機能する。
- ⑦ 警察は地域社会の統合部分である。
- ⑧ 警察職員の採用は門戸が広く開かれている。
- ⑨ 警察は任務の優先順位を自ら決定するが、防犯活動に重点を置く。
- ⑩ 警察は社会の効果的管理を受ける。

これらの法則は実行されているものもあるが、特に警察官の職務態度や職業的文化には問題もある。1986年夏、オスロ大学法学部教授アンダース・ブラサラムはノルウェーの警察官の残忍な行為に関する本の中でベルゲンやオスロにおいて警察官による被疑者への暴行は日常茶飯事であると述べている。

ブラサラムの主張に対してオスロ警察は二度返答している。それは事実であるが誇張されている。オスロよりベルゲンの方が状況は悪い。ブラサラムは自分の見解を強く主張するとともにオスロ警察よりベルゲン警察に関して意見を述べている。オスロ警察は年輩の警察官の小集団が被疑者に対して暴力を振るったこと及び、進歩的・革新派の本部長はそれらの警察官全員を辞めさせるため、あらゆる努力を惜しまない。いずれにしても、この種の主張はコミュニティ・ポリッシング導入のイニシャティブをより困難にし、おそらく更に必要性が増すだろう。

実際はオスロでは実験段階であるが、明らかに成功しているコミュニティ・ポリッシ

ングのイニシャティブであるオスロの郊外に位置するホルミア地区の交番（オスロは人口約50万人を持つ美しい都市であり、ダウンタウンはヒヨルドと深海湾に近く、湾を囲む丘の住民はその景色を楽しむことができる。）がある。実は、ホルミア交番とはモール街ビルに位置する一連の事務所のことである。それらはヘルスクラブ、病院、歯科医院、魅力的な店舗等のアメニティに囲まれている。6人の警察官はこの交番に配置され、学校・青年クラブ・家族グループ等を訪問したりする。主要な学校問題はモッピング（群れをなして襲うこと）と呼ばれる現象で、年長者が年少者をからかい、いじめ、時には金銭を強奪することである。警察官全員が制服でかなりの巡回連絡を行っており、「我々も人間である。」ということを示唆している。同時に警察官一人ひとりが基本的な責任を担う。一人目は交通を担当し、法律を遵守しているか確認するため車両の検閲を含めた交通取締りを行う。二人目は行政の担当で、ヨーロッパの警察の典型的な任務である自動車等の免許証関係及び裁判所の召喚関連の仕事をする。三人目は組織内部の行政管理で資器材の管理、勤務査定票や全データを管理する。四人目は郊外の地方警察との渉外を行う。窃盗犯人はこれら郊外の境界地域を行き来するので、警察は関連情報を常時収集する必要がある。五人目は家庭問題、例えば家庭内暴力、麻薬・アルコールに関わる問題を集中的に取り扱う。班長は主要な捜査官かつ取調官であり、コミュニティとの関係構築こそが班長の重要な任務であると確信している。

このホルミア地区の交番はコミュニティ・ポリッシングの見本であり、成果をあげていることに懐疑的である人はまずいないであろう。しかし、1981年発行された有名なノルウェーの報告書はオスロの地方警察の存在を十分認めつつも、15年経った現在でさえ、この班を実験段階と見なしている。

(1) 地域社会と警察

警察活動は容易な任務ではなく、犯罪捜査は主に警察が責任をもって当たるが犯罪の取り締まりにはすべてのものが関与している。民間の協力は効果的な警察活動に欠かすことはできない。可能な限りプロとしての態度で接し、適切、積極的、公正又は迅速な対応を市民は求めている。

警察組織は、様々な局面において警察官の態度に対する民間の考えを聞き入れながら進展したことは歴史から伺われる。世界中のあらゆる場所で早急に警察を組織化する背後には事情があったが、ネパール警察は常に現代社会の進展の一部分であったと考える価値はある。警察内部における軍部分遣隊の介入、又は分遣隊による反乱の制圧を見ても警察が不安と恐怖から成り立ってたことが創造できる。

ネパールにおいて、現在警察署の約50%は民間人が自ら建設した。人々は土地を提供し、実際、人材も提供している。村落における地元警察は民間の間でも大変人気があり、このように民間と警察の協力関係は申し分ないことから、両者の連携は適切に発展していく。

(2) カトマンズにおける地域警察

カトマンズの警察体制は幾度となく変化を遂げた。民間陣が犯罪措置に参加することは慣例とされてきたが、カトマンズでは少なくとも二つの警察署が地域警察体制を計画し始めた。地域社会は犯罪の取締りやその他警察だけでは解決できない事案に直接かかわった。地域警察に関しては日本とシンガポールからまさに多くのことを学んだ。

(3) 女性や子供の保護

女性や子供は社会において最も弱い立場におかれている。犯罪や虐待など多くの犯罪行為の被害者になりやすい。ネパール警察は被害の防止又は被害者の保護についてより適切な処置を進めることを懇願しつつ、さまざまな機関に女性専用の警察チームを編成し、女性や子供に対する犯罪を監視し、捜査している。

(4) 警察と民間による業務

警察はまた、政府外郭団体や大学生と共同して少女売春の取締りに対する民間の意識を高める計画を始めた。学校との連絡計画は事件事故防止について学生を教育する

ことに大変成果を挙げた。学生にとって反薬物対策計画も大変効果的であった。

(5) 存続する意見の不一致

警察と民間の関係を見ても、警察は今もなお世間では誠実さを欠いているように思われる。警察は政治的な強い抑圧や不当な拘束を受けやすく、ほとんどの社会悪の責任を問われ、地域社会から低い身分や軽蔑を受け、フラストレーションのたまる状況で複雑な業務を改正しなければならないと言われている。

このように、警察官一人ひとりが民間に対し、組織的、社会的、経済的又は精神的要因などの性質に応じ、多種多様の不満を抱いている。また、このような不満の声は大きくなりつつあり、民間の姿勢が改善されないことに対する憤りが高まっていることも、特筆すべき事実である。

(6) 解決すべき要因

犯罪を取り締まる過程において、警察組織の歴史、幼稚な政治体制、多様化した人種の同化、社会経済をとりまく環境、または事業管理上の策略等全てが重要な要因となる。

12 バングラデッシュ

ジョージア州立大学のロバート・R・フリードマンによれば、地域警察活動は犯罪を起こさせる環境を変えようという地域社会の資源に先見的に依存することによって、より効果的で能率的な犯罪取締りを目的とした政策及び戦略であり、犯罪への不安を削減し、生活の質を向上させ、警察活動や警察の合法性を改善した。これに関しては警察への信頼を高めたり、国民が意思決定に大いに関与する必要性が生まれ、市民権や自由に対する懸念の増大などが窺える。上記の全局面を考慮した上でのバングラディッシュ警察は地域警察活動に関する目標を以下のように定めた。

- ① 地域社会を犯罪・治安かく乱に係わるキャンペーンを喜んで助けるパートナーとする。
- ② 先見的な地域活動に重点を置く。
- ③ 累進的により大きな社会責任を担う。

更に、バングラディッシュ警察は達成目標を以下のように定めている。

- ① 各地域の町ごとに市民犯罪防止委員会を設置する。
- ② 警察署で月に一度「市民開放日」を設け、苦情、特に警察職員に対しての苦情を聞いて救済策を出す。
- ③ 警察署に受付場所を設ける。
- ④ 警察職員の教養度を高め、文化委員会を強化する。
- ⑤ 健康管理、植林等の社会経済活動への参加を斡旋・激励する。
- ⑥ 地域警察の必要性に関して警察職員に教養し動機付ける。
- ⑦ 地域警察活動に関して別枠で予算供与を行う。

以上の目標に関しては、既にかかなりの程度まで達成されている。

バングラディッシュで法秩序を維持するには警察と公共の協力が必要である。警察と公共の協力が難しい場合にはこの国に平和と秩序は維持できないだろう。バングラディッシュは大部分が田舎であり、人口の約80%が村落に居住しているし、各村落の犯罪者数も多い。犯罪の発生を抑えようという田舎的な雰囲気維持する誠実な村民がいなければ警察独自で犯罪防止を行う可能性も出てくるであろう。それ故に田舎においても同じプロセスを導入している。田舎の住民を動員し、法秩序委員会を設置し、田舎地方警察のメンバーからなるパトロール団及び村落防衛団を編成し、犯罪の多い地域における夜

間パトロールを計画した。警察官が彼らを監督して、犯罪や犯罪者の取締りを目的とする効果的なパトロールを心掛けている。特に首都ダッカやミメンシン地区においては犯罪及び治安かく乱に対する戦いの際に地域住民が積極的に参加させることに成功した。

1.3 中華人民共和国

低い犯罪率にもかかわらず、中国警察は近年の活発な犯罪問題に関して懸念を抱いている。実施計画の優先事項として、犯罪者と戦う人的資源を投入し、刑事事件の増加を抑止するためにあらゆる対策を講じ、ある程度の成果を取めたがその中でもコミュニティ・ポリッシングの強化は最も重要な施策の一つである。

中国警察は犯罪防止活動は統合された犯罪削減方法と密接に結び付いていると考えており、犯罪者対策は刑罰と犯罪防止の二本立てである一方、犯罪防止の方に力点を置いている。中国警察は昨今、中央省庁とあらゆるレベルで緊密な協力関係にあり、これら組織は様々な階層の人物を動員して犯罪防止団体を作った結果、効果的に犯罪活動を防止した。

まず、国民に犯罪防止の概念を吹き込むためにマスメディア（ラジオ、テレビ、新聞、黒板、街頭広告、チラシ）を利用するなどしたり、市民に街路や住宅周辺で立番やパトロールさせるなどして警察のプロパガンダと教育を高めた。地方警察側としては犯罪傾向の知識と情報に従って防犯対策をより効果的にするため速やかに指示を与えている。

第二番目に、階層ごとに分類された犯罪防止制度のネットワークの構造である。各居住地区の事情によりその防犯活動の形式は異なるが、アパート管理・工場地帯の道路のパトロール・街区ごとの警備リーダー・地域の世話・田舎の家畜場警戒等が含まれる。都市部の中には、新しい形の社会的な警察活動を開発するために全ての省庁、企業、市民が公民教育、地方行政、包括的な犯罪防止活動に携わっているような安全な居住区や文明化した居住地区がアパートのモデルとして建設されている。全州の公共施設・組織・企業・経済及び文化団体は警備当局の監視下に各種の警備活動や安全評価を行っている。

第三番目に、一般大衆から構成される組織をフル活動させる（例えば、コミュニティ安全委員会：この委員会は多数のボランティア防犯組織・警備会社の人数を除外すると、現在118万存在し、1260万人の構成員からなる。）。コミュニティ安全委員会は地域警察当局の管理下の都会や田舎の住居地単位のコミュニティ安全委員会にまで拡張している。それらの任務には合法的なプロパガンダにより犯罪に対する警戒を強化すること、安全対策実施を促進すること、潜在的危険を除去する、市民間の争いを仲介する、社会的摩擦を即座に緩和・解決する、非行少年を更正させ、社会の犯罪の要素を取り除

くなどして非行少年を困難から守る。地方では馴染みが深く、地方の情報に通じているコミュニティ安全委員会は対象組織は社会の治安を守るために犯罪防止活動を向上するのに重要な役割を果たしている。

第四番目に、移住者の行政管理を向上させた。中国の人口流出は1日7,000万～8,000万人に達しており、警察署は移住者の法的権利を保護し、各種の犯罪活動に重要な一撃を加えた。この目的達成のため、警察署は移住者管理の強化、登録制度の増強、合法的移住者の保護、不法移住者の取締まり、犯罪と戦い、改革を実施するという方針の変更を実現した。

第五番目に、警察パトロール制度の導入である。この新しいアプローチは警察等の公安機関が事件を受身的に取扱う行政官になる傾向に歯止めをかけるなどして積極的な警察活動に拍車をかけた。迅速に反応する警察力を強化したので、通報等を迅速に処理し犯罪現場に急行できるようかなり改善された。現在、警察官は犯罪・事故被害者や老人、子供達を援助したり、地理享受や深夜勤務の労働者を保護したりすることにより市民との絆をより緊密なものとして、住民の不安を軽減し困難を克服できるよう援助している。そうすることによって市民の安全意識が増し、より多くの市民の支持を得て、益々市民の警察秩序維持活動に対する参加と援助を獲得する結果となった。

第六番目に、懲罰、禁止、秩序の厳守である。これは秩序や法執行への可能な監視を行うためにはコミュニティ・ポリッシングを対象とする警察力を構築する重要な局面である。監視部は顕著な問題や過去に突然現れた有害な傾向を示す問題に関して時宜を得たかつ抜粋方式の検閲を行っている。1993年に始まった汚職反対キャンペーンは警察力が公正に職務を遂行すること、また起立と勤務体制を遵守することを可能にした。同時に警察署は警察官が市民に奉仕しているという意識を高める組織的で規則的な体制を形成することで、警察官の外観や行動までもかなり改善した。警察署では「困ったときには警察官に頼ってください。」というモットーを掲げている。それに対し、中国のコミュニティの住民は「以前は困ったときでも、頼れる組織はほとんどなかった。」と言っている。しかし、現在は援助を求めて地域警察官、言い換えれば政府に頼ることができる。更に、訓練と教養を行ったことで中国中の警察の外観と秩序が向上された。

都市部や田舎に拡大した改良コミュニティ・ポリッシングのおかげで、治安かく乱行為や自然災害までが頻繁に発生していた場所で、多年に渡り犯罪の無いところも出てくるようで、中国が改革を図り他国に開放的になることにより中国の警備公共機関は効果

的に犯罪を防止するために精力的に模索中であり、継続的にコミュニティ・ポリッシングの改革と強化を図っている。そうすることにより、改革と開放政策の実施と経済構築に好ましいよりよい安全環境を作り出し、市民の平和で幸福な生活を保証している。